

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



謹賀新年

成



JA中春別

新年号

2018 Vol. 480

新春の

およろこびを

申しあげます



本年もどうぞよろしく
 お願い申し上げます
 平成三十年元旦

代表理事組合長	小湊 保
副組合長理事	西川 寛稔
専務理事	佐藤 猛
常務理事	大山 武永
理事 (営農生産委員長)	藤倉 紀夫
理事 (総務経済委員長)	望月 英彦
理事	伊藤 一吉
理事	遠藤 均
理事	山崎 浩二
代表監事 (員外)	紫藤 正幸
監事	荒 青史
監事	原内 修
他職員	一同

中春別酪農対策協議会会長

伊藤 一吉 外会員一同

中春別農協青年部部長

野矢 貴志 外部員一同

中春別農協女性部部長

齋藤 道子 外部員一同

中春別農協良質生乳生産推進委員会委員長

藤倉 紀夫 外会員一同

中春別農協良質粗飼料生産利用対策委員会委員長

山崎 浩二 外会員一同

中春別地域河川流域環境保全推進委員会委員長

藤倉 紀夫 外会員一同

中春別乳牛改良同志会会長

竹田 潤 外会員一同

中春別乳牛検定組合組合長

小湊 保 外組合員一同

中春別農協農業後継者対策協議会会長

藤倉 紀夫 外会員一同

中春別農協年金友の会会長

高橋 昌晴 外会員一同



新年のごあいさつ

担い手確保、就農にむけ 労働力確保に努める

中春別農業協同組合 代表理事組合長 小湊 保

明けましておめでとうございま
す。

平成30年の輝かしい新年を迎え組
合員並びにご家族の皆様へ謹んでお
慶び申し上げます。皆様方におかれ
ましては、営農への努力と農協事業へ
のご理解・ご利用をしていただき敬
意と感謝を申し上げます。

個体販売価格が堅調に推移


昨年を振り返りますと、国内経済
は潜在成長を上回り企業収益は前年
より上積みをされて改善の一途を辿
つていますが、民間消費は引き続き
弱含みとなっております。今後、株式金
融市場環境の変動とともに中東・北
朝鮮などの地政学的リスクもあり目
が離せないところです。また、自然
災害は九州北部・北陸を中心に記録
的な集中豪雨により、多くの人命と
甚大な被害が発生しました。当地区
におきまして、台風18号通過によ
り農業施設の損壊、デントコーンの
倒伏被害が発生したところです。一
番草・二番草の収穫作業は、比較的
天候にも恵まれ順調に終える事がで
き、平年以上の収量と品質が期待さ
れ、今後の生乳生産増に向け弾みが
つくところです。酪農・畜産を取り
巻く環境は、算定方式の見直しによ

る乳製品の一本化となり補給金単価
の引き上げ、用途別価格の上積みか
あり、加えて資源減少の影響などが
ら個体販売価格が堅調に推移してお
り、全体的に経営改善の底上げとな
っております。

一方、国際貿易交渉を巡る情勢
は、昨年7月に日EU・EPAは大
枠合意し、12月に交渉が妥結され、
来年の早い時期には重要部分の発行
を指すとなっております。また、
TPP11は大筋合意に至ったと報じ
られたものの、今後、各国の議会承
認が難航する事が予想されていま
す。何れの交渉においても酪農畜産
に影響を及ぼす可能性があり、将来
に向け不安を抱えた中、担い手の意
欲が減退する事が懸念されること
です。農業・農協改革では、生産資
材価格の引き下げと見える化、流通
改革に向け系統団体と連携し取り組
んでいるところです。

経済事業・営農事業・ 金融事業の機能強化

信用事業の枠組みは、農協改革集
中推進期間の平成31年4月までに農
協としての方向性を決定しなければ
なりません。信用事業の規制は益々
厳しくなり収益減少も懸念される



中、農協が総合事業の強みを発揮するためにも経済事業・営農事業・金融事業を一体的に機能強化させていく必要があります。本年3月に開催予定の懇談会において、スケジュール内容などを説明させていただきます。また、加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜安法が衆・参で可決成立し、その後、政省令公布と生産局長通知が示され本年4月1日より施行されます。この間、年間販売計画、集送乳調整金交付、正当な理由で申し出を拒否できるなどが議論の争点となりましたが、需給調整機能が発揮でき、いいとこ取りのない公平公正な制度を望むものです。

基盤の強化と体質強化を

今年度の酪農畜産価格関連対策は、改正畜安法の下で生産者補給金を1kg当たり8円23銭、集送乳調整金2円43銭で決められ、両単価を合わせると10円66銭の前年より10銭の上積みがされました。交付対象数量は10万トン減の340万トンで決定されました。また、用途別価格はチーズ単価の引き上げにより前年並みで決着をし、今後、入札される5万トンがプラス要因となり実質値上げとなります。これらによりプール乳価は1kg当たり100円が見込まれ

るところです。関連対策は畜産クラスター事業、マルキン補填率の引き上げ、働き方改革に向け楽酪事業の継続・拡充、酪農ヘルパーの充実など一定の予算が措置されました。この環境の下、将来に向け基盤強化、体質強化を図っていただくようお願いいたします。現在、経営者の高齢化、担い手不足により酪農家戸数、生乳生産量の減少が続いている状況下で生産基盤の弱体化が進み、地域コミュニティの維持も困難となっております。当組合といたしましたも、昨年4月に「株式会社なかしゅんべつ未来牧場」がスタートし、現在、2組の夫婦と1人の単身者が将来の酪農経営を目指し研修を重ねており、これからも一層会社と連携し、新たな担い手確保と就農に向け人材育成や酪農ヘルパー、サポートなどの労働力確保に努めて参ります。

近年、大きな被害をともなう自然災害が恒常化しておりますが、今年度は戊午年言葉の由来は「刃物で作物を刈り取り、ひとまとめに締めくくり収穫する事」を意味します。本年が組合員、ご家族の皆様にとって穏やかで実り多き1年でありますよう祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

平成30年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成30年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことから農作業・生育も順調でありました。9月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に9月18日の台風18号によって、全道的にデントコーン・水稲の倒伏、農業施設の損壊などにより、農作物の品質、収量に懸念が生じたところでした。

しかしながら、結果的には、米は、作況指数が103の「やや良」、小麦・てん菜は、収量・品質とも平年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた1年となりました。

平成28年9月に4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連

施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではありますが、昨年元旦に新聞紙上で意見広告を行った「それでも種をまく」という農民魂のもと、JAグループ北海道は着実に前を向いて歩んで参ります。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国との貿易交渉など、その進展状況と内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わっていないこともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念されるどころです。

農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に追われた1年でありました。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参

ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであり、本年はその総括年度となります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と550万人サポーターづくり・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、今年の干支は戊戌（つちのえいぬ）です。

一説には、戊は、「茂」に通じる意味があり、「植物の成長が絶頂期にある状態」を表しているとのことでありました。

今年はこの戌年にあやかり、天候に恵まれ実り多い豊穡の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。

新年のご挨拶

将来に夢ある経営基盤の確立を



中春別酪農対策協議会 会長 伊藤 一吉



新年明けましておめでとうございます。新春を迎え会員とご家族の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より当会の事業に対しまして特段なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の酪農情勢を振り返りますと、加工原料乳生産者補給金はバター・脱脂粉乳とチーズ向けに対しそれぞれ補給金単価と交付対象数量を決めておりましたが、平成29年度から新たに生クリームなどの液状乳製品を追加し、単価及び交付対象数量が一本化され、交付対象数量については350万トン、所要額は370億円となりました。補給金単価につきましては、二桁以上の水準が確保され10円56銭となり、用途別乳価引上げによる60銭、さらには乳製品向け生乳6万トンの入札による20銭強を加えますと2円80銭強の乳価引き上げとなりました。次年度以降の補給金単価は、直近の物価で修正した生乳1kg当たりの生産費(3年平均)の変動率方式で算定され、初年度の単価設定が極めて重要な位置づけとなりました。農協平均単価は99円後半から100円台に到達し、畜産物価格においても初妊牛取引価格が80万円台を超えて推移しており農家所得の向上へとつながりました。1年の経営の

良し悪しを左右する一番草収穫は6月15日頃から開始され、良質な粗飼料が確保されたものの、2番草は天候不順により10月上旬まで収穫がずれ込む圃場も散見されました。また、台風18号の襲来によりデントコーンは8割ほどが倒伏し突貫の収穫を余儀なくされ、牛舎など建物にも暴風による被害が報告されました。被害に遭われた会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

国内外に目を向けますと、農業所得を増やすためには農協改革が必要と耳触りの良いフレーズを旗印に、政府の規制改革推進会議・農業ワーキンググループの提言による信用事業分離・指定乳生産者団体制度・加工原料乳生産者補給金暫定措置法等の改革が声高に発せられ、日EU・EPAおよびTPP、新たな枠組みによる2国間通商交渉など自由貿易への流れに我々の生産現場も不安が生じております。

昨年の酪対活動につきましては、7月と11月の2度にわたり、農林水産省生産局との意見交換を実施し、合わせて道内選出国会議員への要請活動を行い、環境保全対策や担い手対策、畜産クラスター関連事業等、生産者の声を直接届け、施策提案を積極的に行いながら情報収集に努めました。11月には道農政部へ出向き、中司道議と道農政部との意見交換を行い精力的に活動させていただきました。

きました。消費拡大運動としては、夢都里路クラブ企画で生活クラブ生協の組合員との意見交換を実施し、12月には生活クラブ連合との意見交換を行い、当地区への信頼感や期待感を感じる有意義なものとなりました。生乳生産については、第9期生乳安定生産対策の最終年(3年目)となり、前年実績103%を基本に取進められていますが、農家戸数の減少や、7月の猛暑、一昨年の粗飼料の力不足により前半は伸び悩みましたが、昨年の良質粗飼料確保により後半の生乳生産に期待をしております。国際化の中での自由貿易の流れや農業全体の構造改革が求められ、不透明で予断を許さない状況にあります。また、恵まれた広大な草地の優位性を活かして良質粗飼料の確保、良質生乳生産に努めることにより調和の取れた「人・牛・飼料」作りに邁進することが未来ある地域づくりにつながるものと思います。

本年度も、地域で抱える諸問題が少しでも解消されるよう、各関係団体と連携を図りながら継続的な運動を展開して参りたいと思っております。会員並びにご家族の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、ご健勝で豊穡の秋を迎えることが出来ますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

青年部新年のご挨拶



青年部協農別春中 部長 野矢 貴志

新年あけましておめでと
うございます。
当青年部活動に対しまし
て組合員皆様をはじめ、農
協や関係機関の皆様には日
頃よりご理解とご協力を承
り厚くお礼申し上げます。
昨年をふりかえりますと

若き力で未来を切り開こう!!

台風や長雨などの天候不順
による被害は例年より少な
かったものの、牛サルモネ
ラ症やマイコプラズマ性乳
房炎などの疾病の多発によ
り、乳牛の体調管理や生乳
の安全出荷に苦慮した1年
となりました。
そのような状況下の中、青
年部では、中春別の小、中学
生を対象に募集した標語の
ロールバックメッセージ作

成、道東あさひ農協青年部
との合同消費拡大企画「夏
の牛乳消費大作戦」は、昨
年と同様に野付ネイチャ
ーセンターと弟子屈町、道
の駅「摩周温泉」で乳製品・
ミルクランドグッズの配
布をいたしました。また、
全道JA青年部大会への
参加に関しては、例年と比
べ多くの部員の参加とな
り、全道単位での青年部活

動を学ぶことができ、多く
の刺激を受けてきました。
9月には「青年部音楽イベ
ント」を通じて盟友同士や
異業種の方々との交流を図
るなど、様々な事業に取り
組んでまいりました。
また、今年の中春別小学
校1・2年生の合同親子レ
クリエーションへ、バター
作りの講師として参加させ
ていただき、新たな食・農教
育活動に取り組み、大変貴
重な経験を積ませていた
きました。

恒例となりました女性部
合同でのお中元・お歳暮ギ
フトも多数の注文をいた
き、皆様のご協力を心より
感謝いたします。
平成29事業年度も残すと
ころ3カ月となりましたが
青年部一同、これからも一
層気を引き締めて各活動に
取り組んでまいりますの
で、皆様方におかれまして
は今後ともご指導の程お願
い申し上げます、新年の挨拶と
かえさせていただきます。

女性部新年のご挨拶



女性部協農別春中 部長 齋藤 道子

新年明けましておめでと
うございます。ご家族お揃
いで輝かしい新春をお迎え
の事と謹んでお慶び申し上
げます。

日頃より女性部活動に対
しましては、農協をはじめ、
各関係機関の皆様には、多
大なるご指導、ご協力を賜
り厚くお礼申し上げます。
昨年の天候は7月中頃、

活動・交流を深め女性パワーを発揮

連続真夏日が10日以上続
き、11月に入り寒く下旬に
雪が降り、12月に根雪と毎
年変動する自然気象に戸惑
います。変動と戸惑いは農
業者にとっても同じで、世
界状況農業農政をめぐる情
勢農業改革、農家戸数減少
など消費者の信頼に応え安
全・安心な国産畜産物を將
来にわたって安定的に供給
できるように、地域農業を
支えられるようみんなが助
け合い、豊かで暮らしやす
い地域づくりができる女性
部であるよう心をひとつに

頑張りたいと思います。
女性部活動のなかで一番
印象に残っていることは、
別海漁業協同組合女性部の
方々を講師として招き、鮭
のさばき方を教えていただ
いたことです。今まで自分
は自己流でしていましたが、
プロのさばき方を見せ
ていただき、びつくりと同
時に大変参考になりました。
翌日の収穫祭では、秋味
鍋を皆様に披露し食べてい
ただきました。これからも
女性部同士、交流が深まれ
ば良いと思います。人と人

との繋がりがとても大切だ
とつくづく思いました。
全道家の光大会では、ア
クリル毛糸で編んだJA中
春別オリジナルモーション
の形の毛糸タワシを作り、
出店の際にはかわいいと大
変好評でした。また、牛乳乳
製品の消費拡大運動、青年
部とお中元・お歳暮作り、共
進会で好評のミルク豚汁な
どの各行事活動をしなが
ら、心いやされるフラワー
アレンジメントや、花寄せ
植え・花壇作り・お菓子作り
などいたしました。それぞ
れが仕事・家事・育児・介護
などで忙しい中、女性部の
活動に参加していただきま

してありがとうございます。
今後も交流を深め、女性
パワーを発揮し、厳しい時
代を乗り越えることのでき
るJA女性部組織を目指し
て取り組んで参りたいと思
っております。本年も私達
女性部はより一層活発な組
織活動を展開して参ります
ので、どうぞ宜しくお願
いいたします。新規加入も宜
しくお願いたします。
皆様のご健康とご多幸を
心からお祈り申し上げます、新
年の挨拶といたします。



情勢に左右されない強く 安定した酪農経営を目指して

中春別乳牛改良同志会 会長 竹田 潤

2018年、新年を迎えるにあたり日頃より格段のご理解、ご協力、ご指導を賜りました皆様へ謹んでお慶び申し上げます。

また、当同志会事業推進につきまして農協をはじめ、各関係諸機関の皆様にご多大なるご協力をいただき、役員、会員一同、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、粗飼料収穫においては、質量ともに良質なものが確保できました。また、一昨年に引き続き乳価、個体販売ともに好調に推移しており今後もこのような状況が恒久的に続くことを望むところであります。我々同志会は、日々変化していく情勢でも強く安定した酪農経営を図るためホルスタインの改良技術、飼養管理技術などのさらなる研鑽と探求を目的に精力的に活動して参りました。

昨年の事業として、会員の更なる知識・技術向上を目的に「女性視察研修」、「酪農講習会」、「酪農視察研修」の開催、多くの組合員や地域の皆様にもショウや乳牛改良に触れ、興味を持っていただけるよう組合だより紙面上で「ホルスタイン写真コンテスト」を開催いたしました。また、北海道、管内各協議会事業にも精力的に参加し、多くの会員が乳牛改良の知識、技術を深めて参りました。そのような活動が実を結び、北海道ホルスタインナショナルショウでは中春別から4年ぶりとなる1等賞1席の獲得を始め管内・全道の各種ショウや共進会において中春別ホルスタインが活躍しました。日々の改良の成果といたしましても新規エクセレントを3頭獲得し、累計229頭を数え素晴らしい成果をあげる事ができました。

本年も乳牛改良と酪農経営を融合し「中春別」に根差した活動を展開して参りますので、組合員・農協・各関係諸機関の皆様におかれましては変わらぬご理解とお力添えを節にお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成29年 新規EX獲得牛 累計229頭

EX90 (04-10)

アビリティファーム DDJ ビアンカ

No.1337309415 H24.7.27生
03-03 305 M9,065kg F4.0% P3.3%
SNF8.9%
父:コムスター ラバンガード ET
母:アビリティファーム DDJ ダンディー
所有者:橋本 幸二

EX90 (06-03) 4代EX



ライプリー デ コール プリンセス サン

No.0291910897 H22.12.4生
03-11 305 M10,937kg F3.4% P3.0%
SNF8.6%
父:ジエンマーク ストーマテイツク サンチエス
母:ライプリー デ コール プリンセス ダイアナ EX90
祖母:ライプリー デ コール プリンセス レディ EX90
曾祖母:ライプリー デ コール クリエーション プリンセス EX90
所有者:山田 光男

EX90 (08-10) 2代EX及び姉妹EX

セイコー ステディ メラニー

No.0308808315 H21.1.30生
07-05 305 M10,387kg F4.1% P3.2%
SNF8.8%
父:レーガンクレストミスター ダーハム サム ET
母:セイコー キタエール メラニー ET EX90
姉:セイコー アーティスト メラニー EX91
所有者:宗像 宏充

農林水産省との平成30年度 酪農畜産関連対策に関する 意見交換並びに国会議員への要請

農政運動として中央要請を実施



中春別酪農対策協議会（伊藤一吉会長）では、11月20日21日の両日、農政運動として中央要請を実施いたしました。

1日目 農林水産省生産局との 意見交換

初日は農林水産省生産局を中心に各関係部署担当官が出席し、最近の酪農畜産

をめぐる情勢や畜産クラスター関連事業など、各種事業について生産者が活用し生産が拡大できるように要請を行いました。国営かんがい排水事業について

は、現場の利用状況を中央へ直接届け、引き続き予算の確保について要請をいたしました。

2日目 衆・参国会议員へ現場の声を届ける

2日目は議員会館へ出向き、道内選出の衆・参両議員への要請活動を行ない、労働力確保対策や畜産クラスター関連事業について要請し、女性や若い生産者から現場の声を伝えました。



伊東良孝衆議院議員へ酪農の現実を訴える



鈴木貴子衆議院議員へ各事業の要請などを訴える

国会议員からは、離農が多く農家戸数が減少している中で担い手対策や生産意欲が沸くよう各種対策に力を入れたいと述べられました。

（要請者）

- 会長 伊藤一吉
- 副会長 浮川 優
- 副会長 中村貞志
- 常任委員 西原珠美
- 常任委員 小西祐司
- J A 中春別
- 副組合長 西川寛稔
- 事務局 水谷 計7人



中春別農協青年部は12月7～9日にかけて開催された第66回全道JA青年部大会(札幌パークホテル)並びに雪印メグミルク酪農と乳の歴史館(苗穂)への視察研修会を開催しました。

全道大会の大会スローガンは「Exciting Innovation ~未来への改革~」と題され、全道JA青年部組織の結束強化と活動の促進を図

第66回 全道JA青年部大会・視察研修

Exciting Innovation ~未来への改革~

り、JA運動の推進と部員家族の社会的経済的地位の向上に寄与するため、全道JA青年部大会が開催されています。全道各地から80

0人以上、当青年部からは7人が参加いたしました。

大会では、「青年の主張」「活動実績発表」が行われ、各地域の代表が農業に対する熱い想いや、盟友との活動を通して感じている想い、これからの目標などの発表が行われました。また、「分科会」では各分野に分かれ講



師を迎え米や酪畜の他、畑青では「スマート農業の情報発信について」と題して、コニカミノルタ(株)産業光学システム事業本部の星野廉氏を迎え、ドローンとトラ



感じられる講演を聴くことができ、青年部員にも良い刺激となりました。

全体懇親会では、「アームレスリング大会」「純農ボーイコンテスト」が行われ、盟友達と交流を深めました。

2日目には、講演者にタレントの壇蜜氏、対談者にはHBCアナウンサーの森結有花氏を招き、「北海道農業青年に向けて」と題して、基調講演が行われました。



クターの連動利活用について講演が行われました。ドローンの活用による、重労働の解消や省力化に向けたプロジェクト概要の説明や、特殊カメラによる差別化技術の実現についてなど、農業の近代化を

までの流れ、牛乳の梱包ライクの見学など日本の酪農と乳業の発展の歴史を知る事ができました。

全体を通してこれからの酪農、青年部活動に対してとても良い刺激になりました。

農水省との意見交換会を実施

11月27日(月)に青年部(野矢貴志部長)では、青年部役員5人参加のもと、農水省生産局との意見交換会を実施いたしました。



酪農の思いや率直な意見を青年部の立場から農水省の各担当者へ伝える

青年部では2年に1度、農水省との意見交換会を行っており、事前に農協内で勉強会を行い、全員が質問できる体制で参加いたしました。



する様々な意見や思いを伝える事が出来ると思われま

(参加者)

部長 野矢 貴志
 副部長 山田 晃嗣
 理事 藤倉香津靖
 理事 荒 貴志
 監事 片岡 卓也
 事務局

水谷
 佐々木

意見交換会

は、畜産クラスター関連事業や資金関係、家畜伝染病の防疫、雇用、ICT関係についてなど、限られた時間の中ではありましたが、日頃実感する営農に関する



お歳暮オリジナルギフトお礼と結果 青年部・女性部合同

12月1日(金)青年部・女性部合同お歳暮オリジナルギフトの発送作業を、(株)べつかい乳業興社様のエントランスホールをお借りして行いました。

作業には青年部・女性部合わせて12人が集まり、一つ一つ真心を込めて



青年部、女性部が共同で発送作業に汗を流しました

丁寧な梱包作業を進めて全国各地に向けて発送されました。今年度は、なかしゅんミルクロールのAセット、乳業興社乳製品のBセット、乳(ミル)ほた餃子のCセット、池田牧場産和牛のDセットの4セットを作成し、各セットの

結果は、Aセット40セット、Bセット79セット、Cセット80セット、Dセット9セット、合計208セットの注文を賜りまして皆様のご協力で、たくさんのセット数を発送することができました。

来年度以降も消費拡大を目指し、青年部・女性部協力し合い、皆さんにお喜びいただけるセット内容を作れるよう考案していきますので、ご協力の程よろしくお願いたします。



女性部はこんなことをしています!



12月7日(木)に別海中央公民館にて、なのはな整骨院院長野村香先生、地域包括支援センターの方々を講師としてお呼びし、第45回別海町酪農女性のつどいが開催されました。

イメージすると効率が早い

第45回別海町酪農女性のつどい



今回は「身体が資本! 今日からできる健康体操」あなたの身体年齢は何歳ですか?」をテーマに参加型の講演をしていただき、実際に身体を動かしました。午前の部では、地域包括支援センターの方による体力チェックを行い、参加された方は普段から身体を動かす仕事をしている人が多く、測定結果は実年齢よりも若く「まだまだ現役だね」などと笑いながら楽しい時間を過ごしました。

午後の部では、なのはな整骨院院長野村香先生による「酪農女性のためのフランクリンメソッドWS」をテーマに身体の作りについて説明していただいた後、正しい筋肉トレーニングの仕方を教えていただきました。

フランクリンメソッドとは、エリックフランクリンというスイス生まれの元ダンサーが、「身体の動きや仕組みを知った上で、身体を動かすと効果が早い」ということに気付き、フランクリンメソッドを開発したそうです。「普段みなさん

が頑張っている筋トレはそれほど意味がないのです、大事なイメージすること。例えばアスリートの選手はケガをしても回復が早いと思いませんか?実はケガをして動かせない箇所を、動かすイメージトレーニングをすることによって、ギブスなどが外れた時にすんなり動かすことができ、早く元の状態に戻ることも考えず動かす部位に意識を集中させ、イメージして動かすことよって効果は得られるのです」との説明に、「えっそうなの?頑張っても意味がないんだ」と会場からは驚きの声。実際に肺が開いていることを意識して動かしてみると、軽くなった気がする様子で効果を実感している様子でした。

「意識してやるのとやらないのでは全然違うね」と参加者は大満足の表情でした。講演が終わり大きな拍手に会場が包まれ、無事に終了しました。

花は空間に癒しを与えてくれます

女性部フラワーアレンジメント

女性部では12月15日(金)にフラワールームえみさんの渡辺正樹氏を講師にお招きし、フラワーアレンジメントを行いました。

毎年、恒例となったこの行事にはたくさんの方たちが参加しています。今回は、中央に2本のロウソクを立て周りにバラ、スプレーバラで華やかさを出し、ピンクに染めた雲竜柳でバランス

をとり、仕上げにピンク色のアイビーを巻き付けたらフラワーアレンジの完成です。

可愛らしい作品ができあがり、部員のみなさんも大満足の様子でした。アクセントとして白い綿をちりばめ、より一層冬らしく仕上がりました。

年末年始、忙しくなっていくお家に癒しを与えてくれることでしよう。



講師・渡辺正樹さんの丁寧な指導により作業は順調に進んでいます。



可愛らしいフラワーアレンジの完成にみなさん大満足です

事例をもとに進められた研修会

JA中春別青色申告会 税務研修会

JA中春別青色申告会(久末敏幸会長)は12月1日(金)にオーレンス総合経営の森部長、田中主任、金子職員を講師に迎え税務研修会を開催いたしました。



オーレンスさんより講師をお招きし税務研修会を開催

税務研修会は久末敏幸会長の挨拶から始まり、平成31年10月の消費税の引き上げに伴う税制改正と軽減税率に関する内容と、税務処理の仕方及び税務申告の経理時に誤りやすい事例についての内容を主に講習が進められていきました。

大変難しい研修内容でしたが、参加された会員の皆さんは、熱心に耳を傾けて



難しい研修内容に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん、研修後には活発な質疑が多く出されました

いました。

研修会後には質疑・意見も多く出され、大変充実した研修会となりました。

最後に佐々木靖裕副会長の挨拶があり閉会となりました。

II つなぎ飼い編

今よりもあと一回多く「給餌回数」、
 掃き寄せ回数、「飼槽掃除」を増やす!

つなぎ飼いの採食環境には、次のような特徴があります。

「自分の目の前にあるエサしか食べられない」

→他の牛に邪魔されずにエサを食べられる一方で、エサのある他の場所へ歩いていくことができない。

「飼槽には一度にたくさんのエサを置くことができない」

→フリーストールと比べ、飼槽隔壁をあまり高くすることができない。

「エサと飼槽が、水やヨダレで汚れやすい」

→「エサを食べる」場所と「水を飲む」、「反芻する」場所が同じ。

「飼槽周辺の空気がホコリ、湿気、アンモニアなどでよどみやすい」

→フリーストールと比べ空間は狭く、「排泄」、「敷料交換」なども飼槽周辺で行われる。

つなぎ飼いで、牛達に「あと二口」多く食べてもらうためには、牛の食欲が高まる採食環境を整えることが重要です。

「給餌回数」「掃き寄せ回数」「飼槽掃除」などを今よりも1回増やす検討をしてみませんか。

採食環境の整備 ※写真は事例紹介

新鮮なエサを常に食べさせるために

・給餌回数を増やしましょう



自動給餌機を使い、粗飼料と配合飼料を少量多回給与(放牧期4回/日、舎飼い期6回/日)。舎飼い期の掃き寄せは、自動給餌機が動いたとき+αなので、6回/日以上!

・掃き寄せ回数を増やしましょう



朝・夕の給餌と掃き寄せの「1時間後」に、再度掃き寄せをすることで、あと一口、二口を食べさせます。掃き寄せは6回/日以上!

「キレイなエサ」を保ってあと二口!

- ・給餌前には飼槽の掃除をしましょう
- ・水やヨダレなどで汚れた部分も掃除をしましょう



ワイパーと竹ぼうきで細かい残飼も取り除きます。

「キレイな水」を保ってあと二口!

- ・ウォーターカップは、定期的に掃除をしましょう
- ・中に入ったエサは、取り除きましょう



メラミンスポンジでこまめに磨き、清潔な容器を保持しています。

「新鮮な空気」鼻面にあててあと二口!

- ・入気口、排気口を確保し、新鮮な空気を取り込みましょう
- ・換気扇は冬でもゆっくり回しましょう



冬は牛舎の窓を少し(約5cm)開けたままにします。吹雪の際は、紙袋などを詰めて対応します。

12月号P11の間違いと訂正について 根室農業改良普及センター営農対策情報

表1 フリーの飼養形態における広さの考え方

後期(分娩前3週間) 2~14㎡/頭 は間違えていた。正しくは後期(分娩前3週間) 12~14㎡/頭に訂正させていただきます。

寒いのも忘れ親子で楽しんで

中春別へきち保育園 乗馬体験



快晴の中、中春別へきち保育園お楽しみ会による「親子乗馬体験」が、12月15日(金)に行われました。

窓の外に目を向けると、たくさんポニーがやってきました。ポニーを目の前にした子供たちは「大きい！早く乗りたい！」と大はしゃぎ。外に行き、間近で見て触ったポニーの匂いとぬくもりに、子どもたちは感激の様子。

乗馬中の子供たちは最高の笑顔を見せてくれました。中には、よほど乗馬が楽しかったようで、「もう1周！」とねだる子もいるほどの大人気でした。

馬そのりの方では友達同士や、親子で一緒に乗っており、こちらも大人気となり、親子そろって、寒さも忘れて乗馬体験を楽しみました。参加された皆様、お疲れさまでした。



●【経営科】校内実績発表大会を開催

12月8日(金)、本校を会場に校内実績発表大会を開催しました。この大会は生徒のプロジェクト学習の成果を発表するもので、根室農業改良普及センター 所長 嶋野幹夫様、北海道開発局根室農業事務所副所長 村田穰様、道東あさひ農業協同組合営農部長 齋藤哲範様、別海高校農業クラブOB会・佐々木幹基様を審査員に迎え、飼料作物研究班、資源循環研究班、畑作園芸研究班、乳製品加工班の4班が発表を行いました。

ライ麦を飼料として導入する研究や消化液の有効活用に関する研究など、どの班も地域農業の課題を取り上げた発表内容となっており、審査員の方からは「地域の特性を活かしたプロジェクトであり、好感が持てた。」「発表の練習に力を入れて欲しい。」とのアドバイスを頂きました。



発表の様子

入賞した3発表は1月18、19日に更別村で開催される東北北海道大会へ出場します。結果は以下のとおりです。

【最優秀賞】資源循環研究班

「新たな別高式農業を目指して」

【優秀賞】飼料作物研究班

「高品質粗飼料の生産を目指して

～別海におけるライ麦の導入～」

【優秀賞】乳製品加工班

「チーズで繋ぐ地域の輪

～別海町でまあるいネットワークづくり～」

●【経営科】肉製品加工実習を行いました

12月14日(木)別海町農漁村加工体験施設で酪農経営科3年生を対象に、ソーセージの製造実習を実施しました。

校内に肉製品製造設備がないため、塩漬、充てん、結紮などを実際に体験する、貴重な学習の機会となりました。特に羊腸



腸詰め作業中

に肉を詰める際は、力の入れ加減によってすぐに破れてしまうなど悪戦苦闘していましたが、ご担当の館内様のアドバイスで作業を進めていくことができ、すべて腸詰めすることができました。参加した生徒からは「授業で学習したソーセージの製造工程を、実際に経験することで、より深く学ぶことができ良かった」との声が聞かれました。

●【専攻科】根室管内新規就農者交流会

12月4日(月)、中標津町ウエディングプラザ寿宴にて、根室管内新規就農者交流会が開催されました。その中で、中標津農業高等学校 加瀬利憲先生より、「フランスにおける新規就農について」という発表がありました。「フランスにおけるアグロエコロジ



交流会の様子

ー認定(AE)の認知度の急増」などの説明があり、EUやフランスにおける農業政策の現状を知る貴重な機会となりました。その後、昼食を挟み各グループで討論があり、学生からは「自分で牧場を経営する中での、やりがいや課題、地域とのつながりの重要性がわかった。」「私達、後継者へのアドバイスを直接聞くことが出来た。」「是非専攻科修了後の自家経営に生かしたい」という声があがりました。

●【専攻科】根室管内青年農業者会議へ参加

12月7日(木)に根釧農業試験場にて、第43回根室管内青年農業者会議が行われ4Hクラブ会員、専攻科学生が発表を行いました。日常考えていることや



アグリメッセージ発表の様子

実践していることを発表するアグリメッセージ部門と1年間仲間と共に取り組んだ成果を発表するプロジェ外部門があります。専攻科からは、1年目学生田中祥太くんがアグリメッセージ部門にて「牛と人のしあわせな関係」と題して、牛と人が互いを尊重しあい幸せな関係を築きながら仕事を行うという考えをアニマルウェルフェア(家畜福祉・快適性に配慮した家畜の飼養管理)の視点より発表し、見事1月18日・19日に札幌で行われる全道大会への進出を決めました。おめでとうございます。

●【専攻科】農業特別専攻科 専攻特論

授業Eの中で専攻特論という授業があります。この授業では、1年目学生が来年度より取り組む修了研究のテーマ、研究の方向性を決定します。各学生が様々な文献の中より自分が行いたい研究の内容を調査し、また教員と相談しながら進めています。12月に入り方向性も決まり、学生からは「完成度の高い修了研究にしたい」「全力で研究に取り組みたい」という熱意、意気込みが感じられました。



授業の様子

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

【食と農のイベントを初開催】

「北海道アグリ・フードプロジェクト」が11月に札幌市で開催され、JAグループ北海道も企画主体となりブース出展やステージ企画を実施しました。

道内各地の農畜産物や加工品の試食・販売をはじめICT関連最新技術の紹介まで全道の出展者が集まり幅広いブースを展開。農業関係者や消費者の皆さんなど約8000人も訪れ、農業の最先端技術に触れる場や、北海道農業の魅力発信の場としての大きな役割を果たすイベントとなりました。

会場には畑も出現!



JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として、今年で7回目となる「農業経営フォーラム」を開催しました。

(株)もち米の里ふうれん特産館の堀江代表取締役役に「創業からこれまでのあゆみ」を、NPO法人失敗学会の飯野副会長に失敗を成功のもととする「失敗学」をテーマに講演いただきました。

参加者からは「大変勉強になった」「失敗から学ぶことの大切さを教わった」など好評をいただきました。



ホクレン

LINE@などを活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では、生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材（飼料や農薬など）価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。

今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信して参りますので、ぜひ、お手持ちのスマートフォンやパソコン（<http://hokuren-news.jp/>）からご登録ください。



JA共済連北海道

11月22日・23日に開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」で、オリジナルキャラクター「ひとのわぐま」の的あてゲームを実施し、多くの方に楽しんでいただきました。

地域貢献活動の紹介やキャンペーンチラシを景品と共に配布し、JA共済連北海道の活動を知っていた多くの方となりました。

今後もこのようなイベントを通し、JA共済の周知に取り組んでまいります。



JA北海道厚生連

JA家 庭介護教室では、高齢化の進展に伴いさらに増加することが見込まれている認知症高齢者への支援として「認知症サポーター100万人キャラバン運動」を展開し、認知症を正しく理解し支援する「認知症サポーター」の養成や安心で安全な家庭介護実践のための正しい技術や知識が習得できる講義・実技演習を実施しました。安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みを継続して参ります。



関連会社より新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます
平成三十年元旦

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

平成30年 元旦



代表取締役 小湊 保

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

旧年中は何かとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願いいたします

平成30年 元旦

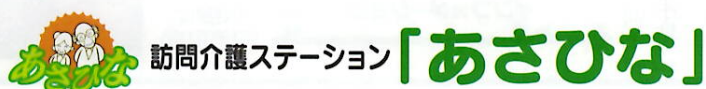


代表取締役 小湊 保

別海町中春別南町3番地 TEL・FAX(0153)76-2861

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

平成30年 元旦



別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階 TEL・FAX(0153)76-3383

旧年中は何かとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願いいたします

平成30年 元旦



代表取締役 小湊 保

別海町中春別115-17 TEL(0153)76-2040・FAX(0153)76-2016





ミルク王国から

良い子のみんなへ クリスマスプレゼント!



王様から子どもたちへのクリスマスプレゼントとヨーグルトが配られ、子どもたちは大喜びでした。最後には王様と記念撮影をして、園児たちから大きな声で、「ありがとうございませす！」と元氣よくお礼をすると、「みなさんは本当に元氣ですね、雪が降って寒くなってきたから、風邪をひかないように気を付けてね」と笑顔でミルク王国へ帰っていきました。

イムでは大きく手をあげ質問をしていました。「好きな遊びは何ですか?」と質問をすると、「スキーや泳いだりすることだよ」と答え、スキーは60歳から始めたという、「すごい!」と園児たちは驚いていました。好きな色や食べ物などたくさんのお話をし、園児たちは王様とたくさんのお話をしました。

中春別へきち保育園と豊原へきち保育園で12月14日(木)、ミルク王国の王様から少し早めのクリスマスプレゼントが園児たちに贈られました。
子どもたちは初めてみる王様に少し緊張気味の様子でしたが、王様からの「みんな仲良くしてるかな?」という問いかけに、「してるー!」と元氣よく返事をする園児たち。緊張もほぐれたようで、質問タ

11月 乳質乳価一覽表

		単 価	算 出 基 礎	支 払 額	前 年 期	差	
乳 脂 肪 分		922.635		37.50	37.43	0.07	
無 脂 乳 固 形 分		585.389		51.83	51.41	0.42	
補給金(脱パ・チーズ・生クリーム)		7.8434		7.84	5.45	2.39	
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	296,779,428.7kg	3.75	3.75	0.00
		ランク2	0	6,787,732.0kg			
		ランク3	-3	156,048.1kg			
	体細胞数	ランク1	2	266,185,028.5kg			
		ランク2	1	20,085,089.8kg			
		ランク3	-2	3,238,368.0kg			
合 計				100.92	98.04	2.88	

(単位:円/)

11月分乳代支払単価

項 目	単価(円)/(kg) %
乳 脂 肪 分 ①	37円50銭
無 脂 乳 固 形 分 ②	51円83銭
補給金③チーズ奨励金④	7円84銭
脂 肪 率	全道 4.06%
	農協 4.11%
無 脂 固 形 分 率	全道 8.85%
	農協 8.82%
成分乳価	全道 97円17銭
①+②+③+④=⑤	農協 97円34銭
乳 質 乳 価 ⑥	全道 3円75銭
	農協 3円76銭
乳代合計	全道 100円92銭
	農協 101円10銭
⑤+⑥	差異 18銭



「十二支・戌の由来」

「戌」は「滅びる」を意味する「滅」で、草木が枯れる状態を表しているという見かたもありますが、実際は「まもる」「植物が育っていき、花が咲き、実をつけ食べごろが過ぎた後、自分の実を落として、本体の木だけは守る」という意味だそうです。

犬はお産が軽いとされることから、安産については「戌の日」が吉日とされています。

前年は酉年で「商売繁盛」や取り→採りと収穫を意味があり比較的良い意味の年でしたが、戌はその後になりますので収穫後の年になります。

編集後記

組合員の皆さま・ご家族の皆さま新年明けましておめでとうございます。

ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は組合日より「なかしゅんべつ」をご愛読いただき、また、取材のご協力をいただきました。ありがとうございます。昨年もたくさんの方々に密着し、中春別の情報をより多くの方に知っていただけるよう走り回ってききました。組合だよりの担当になり3年が経とうとしています。始めた頃は右も左もわからない状態でしたが、取材の際にカメラの使い方を優しく教えていただいた写友北風の方たち。多くの皆さんに支えられ「後で写真がほしい!」、「中春別の組合だよりはいいね、見ていて面白い」などと言っていたとき、苦労が報われた気持ちになります。まだまだ文章が稚拙で書けない日々が続き、悩んだりしています。また、写真も「少し角度を変えてみたら上手く撮れたかな」と思う事が多々あり反省しきりです。たくさんの方々に愛読いただけるようこれからも紙面づくりに努力いたします。

昨年 12月初旬に寒波がきて寒さ厳しい日が続いています。皆さん風邪をひいてないでしょうか。これから寒さの本番になりますので、体調には十分留意されてお過ごしください。また、道路も例年よりアイスバーン状態になっていますので、安全運転に心がけて運転をお願いします。

今年も天候に恵まれ、穏やかに豊穰の秋になることを祈っています。